

【用語説明】

アルファベット順

ACP (Advance Care Planning)	将来起こりうる病状の変化に備えて、患者さんと家族、医療従事者などがともに、患者さんの医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などについて話し合うプロセスのこと。 厚生労働省による愛称は「人生会議」
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症への治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
BCP (Business Continuity Plan)	大地震等の自然災害など、緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための方針、体制、手順等を示した計画のこと
CGA (Comprehensive geriatric assessment)	高齢者の状態について、医学的評価だけでなく、生活機能、精神機能、社会・環境（生活環境や介護環境、家族や友人などの人間関係）の3つの面から総合的に捉えて問題を整理し、評価を行うことで、QOL(人生の質、生活の質)を高めようとする方法のこと
ICT (Infection Control Team)	院内で起こるさまざまな感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動を行うチームのこと
IMRT (強度変調放射線治療)	放射線の照射中に、照射野内の放射線の強さに強弱をつけ、腫瘍に対して集中的に照射を行う治療のこと
ISO 15189	臨床検査室の品質と能力に関する特定要求事項に関する国際規格のこと
t-PA (tissue-Plasminogen Activator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと

あいうえお順

アクシデント	防止可能なものか、過失によるものかにかかわらず、医療に関わる場所で、医療の過程において、不適切な医療行為が、結果として患者へ意図しない傷害を生じ、その経過が一定程度以上の影響を与えた事象のこと
一次脳卒中センター (PSC) コア施設	地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24 時間 365 日脳卒中や脳卒中を疑う患者さんを受け入れ、患者搬入後可及的速やかに診療・治療 (t-PA 静注療法を含む) が開始できる施設のこと
医療情報システム	医療機関等のレセプト作成用コンピュータ (レセコン)、電子カルテ、オーダーリングシステム等の医療事務や診療を支援するシステムだけでなく、何らかの形で患者さんの情報を保有するコンピュータのこと
インシデント	医療の過程において、エラーが発生したか、あるいは発生しかけたが、患者さんに障害を及ぼすことなく、医療事故には至らなかったこと。 「ヒヤリ・ハット」事例とも言われる。
インフォームド コンセント	患者さんが医師等から十分な説明 (目的、内容、予想される結果、危険性など) を受け、理解・納得し、同意の上で治療を受けること
がん患者会	がん患者やその家族で構成され、情報交換や交流、悩みの相談などを行うことを主な目的とて運営される団体のこと

患者経験価値	「患者が医療サービスを受ける中で経験する全ての事象」のこと。入院や外来などの各プロセスで患者さんが受けた医療サービスの「経験」を測定し、サービスの実態を可視化して、具体的な強みや課題が把握できる。
冠動脈インターベンション	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者さんとその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、霊魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと
機能温存手術	切除範囲を少なくし機能を極力損なわないようにする手術のこと
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ、医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者さんに対し高度な医療技術を提供する救急医療機関のこと
救命救急センター充実段階評価	厚生労働省が救命救急センターの充実度を評価することにより、救急医療体制の強化を図る目的で毎年実施されているもの
クリニカルパス	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すものこと

がんゲノム医療	細胞内の遺伝子を解析し、遺伝子変異等を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療のこと
健康寿命	介護や人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作が1人ででき、健康的な日常が送ることができる期間のこと
後方連携	患者さんが医療機関から受診先を変える場合や退院する際に行う医療連携（逆紹介）のこと
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと
堺市地域防災計画	災害対策基本法第42条（市町村地域防災計画）及び南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成14年法律第92号）第6条（推進計画）の規定に基づき、堺市防災会議が策定する計画のこと
堺ふれようプロジェクト	国のモデル事業として認められた事業で、堺市の高齢者の方にいつまでも元気に、この堺市で暮らしていただくためのフレイル予防の取り組みのこと
サルコペニアスクリーニング	高齢者や特定の高リスクグループにおける筋肉量や筋力の低下を早期に発見し、適切な介入や治療を行うための評価方法のこと

三次救急医療	救命救急センターや高度救命救急センターで対応する重篤な疾患や多発外傷に対する医療のこと
産科危機的出血	分娩時における命に関わる大量出血のこと
産後ケア	出産後の母子の心と身体の回復を促し、安心して子育てできるようにサポートすること
産褥精神障害	出産後の産婦にみられる精神障害であり、正常範囲の反応であるマタニティブルーから、産褥期うつ病、産褥期精神病まで、さまざまな場合がある。
シームレス	垣根を超えた継ぎ目のない医療連携を行いサービスの質を向上させること
疾病予防	がんや生活習慣病などの発生を予防すること。
集学的治療	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満 22 週から出生児満 7 日未満までを周産期といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現される。
周術期支援外来	手術が決定した時点から診療科医師と多職種（麻酔科医・薬剤師・歯科医・臨床工学技士・理学療法士・管理栄養士・手術部看護師・病棟看護師など）が計画的に介入する外来のこと

修正医業収支比率	医業収益（医療サービスを提供して得られる収益。入院収益、外来収益、その他医業収益）と、それにかかる医業費用の割合のこと
新興感染症	最近になって新しく出現し、公衆衛生上の問題となりうる感染症の総称のこと。ただし、既知の感染症で再び流行し始めた感染症（再興感染症）を含む。
精神科リエゾンチーム	一般病棟において、身体疾患患者の精神症状（不穏・不眠・せん妄・抑うつ・希死念慮など）の悪化およびそのリスクが高いと予測される場合や患者さんとその家族に対するメンタルサポートが必要な場合に、「こころのケア」をはじめとする精神科医療サービスを多職種で提供するチームのこと
タスクシフト	従来はある職種が担っていた業務を他職種に移管すること
地域医療支援病院	地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関のこと。紹介患者に対する診療機能や実績等により都道府県が承認する。
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院のこと
地域救急貢献率	二次医療圏内で発生した救急搬送件数に対して、当院で引き受けた救急搬送件数の割合のこと

地域救急分娩率	二次医療圏内での出生数に対して、当院で出生した割合のこと
地域包括ケアシステム	団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制のこと
地域連携パス	地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者さんを支えていくための仕組みのこと
治験	患者さんや健康な人を対象として医薬品や医療機器の有効性、安全性を調べる「臨床試験」の中で、国（厚生労働省）から医薬品や医療機器としての承認を得るために行う試験のこと。
低侵襲手術	内視鏡などの機器を用いることで、身体に対する負担（侵襲）を小さくした手術のこと。
デジタル化	これまでアナログで行っていた業務に、デジタル技術を導入すること
特定看護師	特定行為を実施する上で必要とされる、高度な知識・技能を有する看護師のこと。特定看護師になると、医師の作成した手順書に従う条件のもとで、自己の判断により特定行為を実施できる。
特定健診	日本人の死亡原因の約 6 割を占める生活習慣病の予防のために、40 歳から 74 歳までの公的医療保険加入者を対象に、保健指導の対象となるかどうかを判断しメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備軍を減少させることを目的として実施される健康診査のこと

二次救急医療	入院や手術を要する重症患者を 365 日 24 時間体制で受け入れる救急医療のこと。救急医療に関する知識や経験のある医師が常駐した医療機関が対応しており、患者の初期診療から手術、入院まで対応可能な設備や専用病床が整っている。
ハートコール	急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと。当院では、24 時間 365 日、循環器内科医が対応している。
ピアサポート	同じ苦しみや生きづらさを抱える当事者や経験者が互いを支え合う活動のこと
病院機能評価	日本医療機能評価機構が病院の運営管理および提供される診療・ケアについて、中立的・科学的な見地から評価を行い、評価を通じて質改善活動を支援する取り組みのこと
病院前救護活動	救急医療の一環として、病院に到達する前に患者さんに対して行われる医療行為や応急手当のこと
フレイル	健康な状態と要介護の状態の間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士を含む救急隊員が実施する応急処置等に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの行為の質を保証すること
免疫療法	免疫とは、体の中に侵入した異物を排除するための能力で、これを高めて行う治療のこと
臨床研究	人を対象として行われる「医学系研究」のこと。 医学系研究は、生命科学研究や基礎医学研究から、治験までの広範囲に及ぶ。